

藤田観光株式会社
2023年12月期第2四半期決算説明会 質疑応答要旨
2023年8月10日(木)実施

【WHG事業の業績予想について】

- Q、 2Qの実績と比較すると、WHG事業の下期の営業利益の予想が弱いように見える。コストはどのように考えているのか。
- A、 足元で上昇しているコストを実態に即して反映させている。

【「ホテルグレイスリー新宿」と「新宿ワシントンホテル」のインバウンド比率について】

- Q、 2Q時点の「ホテルグレイスリー新宿」と「新宿ワシントンホテル」のインバウンド比率は。また、下期はどの程度を見込んでいるのか。
- A、 2Qにおいて「ホテルグレイスリー新宿」は9割程度であり、「新宿ワシントンホテル」は6割程度であった。下期も同程度を見込んでいる。

【リゾート事業の業績予想について】

- Q、 7月に開業した「箱根ホテル小涌園」は下期の業績予想にどの程度影響があるのか。
- A、 稼働率を8割と見ていたが、足元の8月は9割程度の稼働率であり、9月以降も順調に予約が入っているので、更なる売上の上積みが見込める。

【「箱根ホテル小涌園」開業に伴う「ユネッサン」への影響について】

- Q、 「箱根ホテル小涌園」が開業したことに伴う「ユネッサン」へのシナジー効果は現れているのか。
- A、 想定通りに「ユネッサン」の利用人員は増えている。また、「ユネッサン」内のレストランの利用も増えている。
- Q、 「箱根ホテル小涌園」の宿泊者における「ユネッサン」内での消費額も増えているのか。
- A、 物販エリアをリニューアルしているので売上は増えている。

【今後の人員について】

- Q、 2019年比では労務費が減少しており、従業員の数も減っていると思うが、今後の人員数についてはどのように考えているのか。
- A、 本年は「箱根ホテル小涌園」の開業があり多めに採用を行ったが、来年以降の採用は通常通り行っていく。採用競争力を強化するためにも人件費の上昇分をしっかりと見込み、人員数を確保していく。

【今後の投資について】

- Q、 足元の業績が好調の中、今後、投資は増えていくのか。
- A、 今年については制限をしておらず、必要な投資を行っていく。計画外の大きな投資は予定していない。

以上